

ボルケール村における言語状況

— 西南ヨーロッパ重層言語地帯の調査・中間報告. その1 —

渡 辺 昌 美

(文理学部・史学)

有 田 忠 郎

(北九州大学・文学部・フランス文学)

Rapport des recherches sur la situation linguistique de Bolquère au point de vue du bilinguisme.

résumé

Les régions situées sur les deux versants des Pyrénées présentent des structures culturelles et sociales très caractéristiques en rapport avec leur complexité topographique. On peut observer cette particularité dans la disposition de langues telles que le basque, le gascon et le catalan parlés tous trois par les habitants de ces régions situées en bordure des frontières de France et d'Espagne, où les habitants sont obligés de parler à la fois deux langues ou plus dans leur vie quotidienne. De plus, le problème se complique en fonction des faits suivants. D'abord, le bilinguisme n'est pas un phénomène récent; il plonge ses racines profondes dans les relations historiques d'éléments ethniques et culturels fort divers, Arabes y compris. D'autre part, la centralisation politique et sociale accélérée dans l'époque moderne a fini par établir le prestige des langues officielles (le français et l'espagnol en ce cas), au détriment de langues parlées par les habitants régionaux. Enfin, le dépeuplement qui est à présent un phénomène courant en ces régions (surtout au versant français) a provoqué des changements et l'écroulement rapide des anciennes structures de la vie linguistique.

Le Ministère de l'Education Publique du Japon a envoyé au Sud-Ouest de l'Europe, pendant l'été 1973, un groupe composé de cinq professeurs japonais, dirigé par Monsieur Fujio Sugi, professeur à l'Université d'Okayama, pour des recherches scientifiques sur les structures culturelles desdites régions, en particulier sous l'angle du bilinguisme en Catalogne.

Les trois textes publiés ci-dessous sont une partie des matériaux que nous avons réunis au cours de ces recherches. Sous la rubrique I, on trouvera la transcription de l'entretien que nous avons eu avec Monsieur Antoine BOLFA, secrétaire de la mairie de Bolquère (Pyrénées-Orientales). Le texte que l'on trouve sous la rubrique II est la transcription du même entretien (un peu résumé) en catalan parlé par M. BOLFA; le troisième texte en est une version en catalan classique faite par Monsieur Louis ESTEVE.

Nous présentons nos remerciements à M. BOLFA et à M. ESTEVE aussi bien qu'aux personnes qui ont bien voulu nous aider de leurs précieux conseils et indications: M. Jean KRYNEN, professeur à l'Université de Toulouse, son épouse Mme Jacqueline KRYNEN, M. Maurice BERTHE, professeur adjoint à l'Université de Toulouse, M. Jean HEREIL, professeur au Lycée de Cahors, M. Joseph DELONCLE, directeur de la Casa Pairal de Perpignan, M. Ramón ARAMON I SERRA, secrétaire général de l'Institut d'Etudes Catalanes, Mme BOFILL, M. et Mme Eugeni SURÓS. Nous ne voudrions pas d'ailleurs passer sous silence la dette de gratitude à l'égard des personnes qui ont bien voulu faciliter nos recherches: M. et Mme LASSUS, M. Ramón PAGÈS et sa famille, et enfin, Mlle Florence KRYNEN.

1973年夏、3ヶ月間にわたって、文部省科学研究費補助金により、杉富士雄を代表者とする海外学術調査『西南ヨーロッパ重層言語地帯の調査』の第1次調査が実施され、報告者兩名も調査分担者としてこれに参加した。本調査はピレネ山脈の南北両斜面を蔽う生活言語（バスク語・カタロニア語・ガスコーニュ語）と国民共通語（一方ではフランス語、他方ではスペイン語）の重層する地帯を対象領域とし、言語重層状況の実態把握、言語問題と国民帰属意識ないし国家意識との相関の解明、ひいては近・現代における国民共通語形成過程における何らかの法則性の理解に資することを目的とするものである。もとより言語現象は、それ自体に内在する法則的自律性のみならず、文化構造全般、更に特に共通語の場合には公教育を媒介として国家の政治構造・権力構造によっても規定され、きわめて複雑な様相を呈する。特に本調査の対象は、カタロニア・バスク両地帯の如く前近代においてそれぞれ1個の民族ないし共同体を形成していた地帯や、ガスコーニュ・ベアルンの如くその前段階にあった地帯が、近代国家の形成によって分断され、言語生活の基層と表層に異質の性格をなお留めている特殊な地帯であるので、本調査の目的を達するためには、言語史はもとより特殊言語による文学作品の史的追跡、地理的状况の確認、歴史的解明など多くの角度からのアプローチに基く総合的な考察が不可欠である。最終報告の発表は、調査の全計画が実施され、かつ採取資料の解析と討議が完了した後にまつ他ないが、現地の状況が急速に流動化しつつあることに基づく問題の緊急性にかんがみ、こゝでは中間報告として、今次調査によって採集した資料の一部をそのまゝ提出することとした。本報告は、いうまでもなく、報告者兩名および爾余の調査担当者がそれぞれの責任において逐次公表すべく準備中の報告ないし解説とあいまって、それらの一環をなすものである。

報告者兩名のうち、有田はカタロニアの言語・文学を、渡辺は同地方の歴史・文献を、それぞれ主として担当した。今調査において兩名は、フランス領内の調査定点としてボルケール(Bolquère)を、スペイン領内のそれとしてビラドラウ(Viladrau)を選び、それぞれに相当期間定着して現況に習熟し、付加的に現在カタロニア語を公用語として保存している唯一の国たるアンドラ公国(principauté d'Andorre)内のアンドラ・ラ・ベシア(Andorra la Vella)およびフランス内に所在するスペインの包領リビア(Llívia)を観察する方法を用いた。下にかゝげるテキストは、この内フランス内定点ボルケールで採取した資料の一部にほかならない。

ボルケールは、現行フランス行政区分によれば、ピレネ＝ズリアンタル県(département des Pyrénées-Orientales)、プラド郡(arrondissement de Prades)、モン・ルイ区(canton de Mont-Louis)内に位置する一自治体(commune)である。伝統的呼称で言えばセルダーニュ(Cerdagne)の一角に当る。フランス領内を東に流れ県都ペルピニャン(Perpignan)を経て地中海に注ぐテート河(la Têt)、およびスペイン領内を西南に流れセオ・デ・ウルヘル(Seo de Urgel)、レリダ(Lérida)を経て大河エブロ(Rio Ebro)に合流するセグレ河(Rio Segre)の二水系の分水点ペルシュ峠(Col de la Perche)から北東約1.5軒に当り、いわばピレネ山系東部の大鞍部のほぼ頂点を占める。スペイン国境まで直線距離にして約10軒。標高は村落中心部で約1,600米、村域内最高地点で2,100米弱を算する。交通は、テート沿いに北東へ向ってペルピニャン方面、およびセグレ沿いに西南に向って国境都市ブル＝マダム(Bourg-Madame)ならびにプイグセルダ(Puigcerdà)に出、そこからスペイン領内への二方向に開ける。セグレ溪谷の谷頭に当る同村の位置からして、自然地形的には後者すなわちスペイン領内に通ずる路が最も容易で、これはそのまゝ前近代、ピレネ条約によって分割される以前の、広義のセルダーニュの文化と生活の基軸であったが、現今においては、いうまでもなく国境にへだてられ、実生活上スペイン領内セルダーニャときわめて活潑な交渉があるとはいいがたい。行政・商業・教育など日常もっとも重要な交通は県都ペルピニャンとのそれで、国道および鉄道で結ばれている。国道は峡谷に沿い勾配の強い難路である上、降雪地帯

であるため冬期にはしばしば交通の杜絶を見る。鉄道は地形急峻のため、国有鉄道の標準軌道は到達していない。無人駅を連ねる狭軌の軽便山岳鉄道によってヴィルフランシュ・ド・コンフラン（Villefranche-de-Conflent）に至り、こゝでペルピニャン線に接続する。県都までの所要時間は、およそ3時間余り。山岳鉄道は黄色の列車（train jaune）の愛称で、夏期行楽客の人気を博さないではないにしても、運転回数一日両三度で、必ずしも実用的とはいえない。要するに、同村は、今日のフランスでおそらく最もはなはだしい僻地の一つと言うを得るであろう。

ボルケールの村域全面積は、森林、荒蕪地をも含めて2,700ヘクタール。人口は最新の戸口調査で281名。第二次世界大戦前の325名から大きく減少しているが戦後最も減退した時期には215名にまで落込んだことがあるので、現在は恢復傾向にあると見ることができる。これは後述するシュペル＝ボルケール（Super-Bolquère）の人口吸引にもとづくもので、ボルケール本村そのものの減少傾向は依然変化していない。居住形態から見ると、同村は性格を異にする二つの部分、すなわちシュペル＝ボルケールと本来のボルケールから成立っている。前者は、旧村の西北方の高地斜面に散在する別荘・貸別荘群で、その形成は1950年以後の現象である。同村の経済生活の中に果すシュペル＝ボルケールの役割は決して小さくなく、現に副村長もその住民であるが、その住民は生活の基礎をここでなく遠隔地の都市にもつ、不定期居住者であって、本調査にとっては意味を有しない。これに対し、ボルケール本村は極めて古い歴史を有する。創建年代は不明であるが、同村名は11世紀末の史料に初出する。これは、おそらく、文化共同体としての、そしてルーズではあっても政治的結合による一領域としてのカタロニアの成立期にまで、同村の存在を辿り得ることを意味する。また、セルダーニュの分割を決定したピレネ条約補正条項で問題にされた33ヶ村中の一つである。現存家屋のうち最古のものは、1600年頃の建築である。酒店をかねた旅館2、雑貨新聞煙草商1、パン食品商1の他はことごとく農家で、谷あいの緩斜面に集村をなしている。教会堂、集会所を兼ねた役場、小学校、郵便局などの公共機関、消防ポンプ格納庫1棟、秤1基、水汲場数ヶ所、墓地などの公共施設を備え、自治機能の面では完結した一小世界をなしている。家屋の密集度が高いため、零細ながら景観は都市のそれである。季節農業労働者を除けば、住民は常時定住者、婚嫁による他に外部からの来住者を見ない。

言語分布の問題は、やがて別稿において詳報するが、こゝでは同村が言語配置の中に占める位置を略述する。共通語の面では、フランスの絶端に当り、国境をへだてたスペイン語地帯と鋭い対照をなすが、反面、伝統文化を代表する生活言語カタロニア語の面から見れば、国境の両側を包摂する広義のセルダーニュ地方の中央部に当る。巨視的に見て、カタロニア語そのものはルション、バルセロナ、バレンシア、バレアレスの諸方言、およびアラゴンとの混合方言に大区分されるが、同村はこれらのうち、ルション方言に付随ないし下属するセルダーニュ方言圏内に位置する。同圏内でも、スペイン領においてはカタロニア語は依然日常生活のほとんすべてを蔽うだけの活力を保持しているのに対し、同村の属するフランス領内では共通語の浸透によるカタロニア語の腐蝕がいちじろしい。下にかゝげるテキストはかゝる状況での一資料として理解するべきものである。

報告者兩名は同村の有力者ラッシュス一家への紹介を得て同村へ入り、更に同家によって村長はじめ同村の重要人物多数に紹介された。彼らの協力によって村民との面接を繰返し、言語の実例そのものの採集と言語意識の調査を行った。中でも、調査の趣旨に理解を寄せて積極的なインフォーマントとなったのが、下掲テキストの話者、同村の役場書記アントワーヌ・ボルファ（Antoine Bolfa）氏である。報告者は同氏と懇談を重ねた後、同氏と協議の上話題の大筋を整理した上で、採録に当たった。目的の第一を同氏のフランス語およびカタロニア語をそのまま記録することに置いたことはいうまでもない。そして、会話の進展をはかるために同氏の職業領域に関する話題が多く選ばれたのであるが、これは言語標本の採取と当該標本の環境の説明の二点で有効であったと考え

ている。なお、フランス語とカタロニア語は、同日に採録されたものではない。

同氏は、同村役場のたゞ一人の吏員、書記である。傍ら自家で農業に関係している。教育程度は義務教育。兵役の経験がある。職務上フランス語による文書の操作に熟達しているが、フランス語においてもカタロニア語においても日常的に趣味による読書をするのはほとんどない。同村で観察した所、一般的状況として、全住民がカタロニア語を聞いて理解できるが、話すことのできる者はその一部にかぎられ、両者の年齢的境界は35才前後にあるとすることができる。つまり、旧世代内部では、主としてカタロニア語により時としてはフランス語により対話が行われ、新世代内部ではもっぱらフランス語が用いられる。両世代間の対話では、フランス語が用いられる場合が多いが、時として、カタロニア語の間にフランス語で答え、或いはその逆が行われている。同氏がこの旧世代に属することはいうまでもない。また、同氏がいわば母語であるカタロニア語に愛着を抱いていることは容易に看取されたが、現在のその衰退消滅の傾向に対しては格別の反応を示さなかった。カタロニア語の保存をめぐる文化運動、あるいはそれに関連する政治活動とも一切無関係であった。この点でも、同氏はボルケール村一般住民の典型的存在であると見ることができる。反面、フランス語に関する或る種の自信めいたものが同氏に観察されたのは、フランス語文書を取扱う村内唯一の公吏としての立場に由来するものであろう。

以下のテキストは、録音をできるかぎり忠実に筆記再生したものである。一見して明らかな通り、フランス語に独特の歪み、時には文法上の誤謬がある。他方、カタロニア語には語形や文法上スペイン側のそれとかなりの隔りを示すルシヨン方言の特徴が見られ、さらにフランス語の浸透に基づく腐蝕があって、特に語彙及びアクセントにおいてそれがいちじるしい。この点を明示するために、同一テーマによる標準カタロニア語のテキストを並列した。これは、ペルピニャン在住のルイ・エステーヴ (Louis Estève) 氏によるものである。同氏はカタロニア文化保存運動の一員で、その交際圏内にはバルセロナの作家・詩人・研究者を含み、学識教養の程度はきわめて高い部類に属する。報告者は、ペルピニャンのカサ・パイラル (カタロニア民俗博物館) 館長ドロンクル氏を介して同氏と接触するを得た。もとより、フランス、スペインいずれにおいても、カタロニア語は、国家権力によって保証、維持される公教育に採用されてはいない。それどころか、むしろ積極的に排除され、その故に諸種の問題が生じている現情である。したがって、フランス語やスペイン語に存在する標準語と同じ意味での標準カタロニア語が存在するわけではないが、書き言葉の規範化の程度はきわめて高く、既述諸方言の各地域にわたって、カタロニア語の純化保存運動の当事者達はもちろん、知的な社会階層にひろく滲透している。すなわちそれは、主としてバルセロナの中産階級の間で話される日常語を基盤とし、カタロニアの学者及び文学者とくにバルセロナのカタロニア研究所 (Institut d'Estudis Catalans) のメンバーが従事し来たった言語規範の確立を通じて純化され、文芸作品に用いられている言語の謂にほかならない。

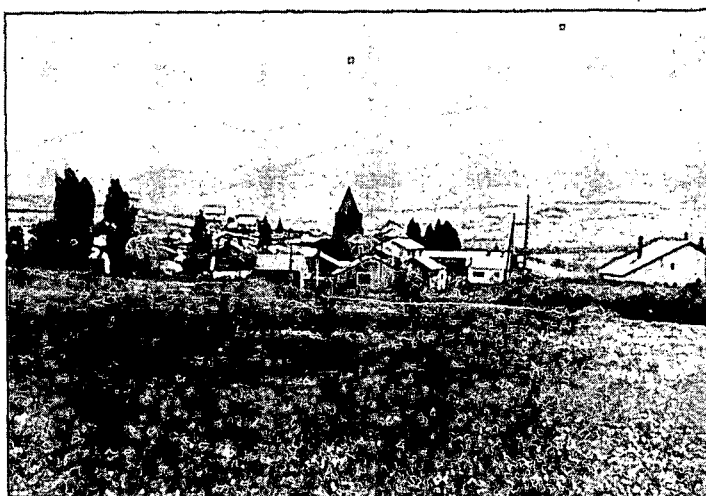
以上のテキストにおいては、第1欄 (偶数頁) にボルフェ氏によるフランス語を、第2欄 (偶数頁) に同氏によるカタロニア語を、第3欄 (奇数頁) にエステーヴ氏による標準カタロニア語を配列し、相互対照の便をはかった。

上記の面接調査に加えて、報告者両名は副次的に二つの面からの調査を試みた。一つはボルケール村の微小地名の検討であり、今一つはカタロニア語でミサを執行する教会のそれである。

フランスの農村の場合、広場、街路、村道、農道、森林、草地、耕地などに固有名詞が付され、いわゆる *lieuxdits* が存するのが普通であり、ボルケールも無論例外ではない。一般に地名は古い言語形態を保存すると考えられるので、微小地名、特に耕地群のその名辞のあり方とその開発耕地化の年代の調査から、同村におけるフランス語の進展とカタロニア語への代位の段階を年代的に



アントワーヌ・ボルファ氏



ボルケール村全景

推定する手がかりが得られないかと考えたのである。そのため、村役場に保管されている土地台帳を検索するとともに住民の間に口誦されている地名の調査を試みたのである。しかし、結果的に、短時間における一村の調査のみからの材料では地名分布の規則性を発見するに十分でなかった。他日、類似の性格をもつ若干の村落について調査した上で資料を整理する他ない。参考までに附記すれば、ボルケールの場合、中心集落内の広場や道路はすべてフランス名であるが、村域内の約40件の lieuxdits のうちには、フランス名ないしフランス語化したカタロニア名 (e.g. Roque Simon, La Babène, La Serye) とカタロニア名 (e.g. Al Cami d'Odeillo, La Creu, Al Bantocale, Las Espineilles, etc.) とが混在して居り、稀に両語の癒着した例 (e.g. Aux Mouillas, Courme de Guinot) が見出される。

次に、カタロニア語によるミサは、特にスペイン領内での問題である。カタロニア語地帯の教会は、スペイン語によるミサとともにカタロニア語によるそれを執行している。一般に、カタロニア語の保存ないし公教育採用の運動はスペイン政府に対して微妙な緊張関係の中にある。カトリック教会は、政治的に現スペイン政権の重要な支柱でありながら、この面では現地の状況に好意的な態度をとり、問題の複雑さを思わせる。無論、報告者の関心の焦点はこの種の問題の分析ではなく、第1にその分布範囲を調査することによってカタロニア語が生活言語として実勢力を有する地帯の境界を確定できるのではないかと考えたのであり、第2はミサは定型化された文言によって行われるために相互の比較照合が容易であり、カタロニア語内の諸変異を明確に把握して変形過程を透視する材料が得られるのではないかと考えたのである。たゞ、定着観察に重きを置いた今次調査では、採集資料は絶対量において未だ不足している。第2次以降の調査によって資料を補完し、結論を得たい。

今次調査に当り、報告者両名は現地で多くの人々の援助と協力を受けた。すでに言及したラッシュス、ボルファ、エステーヴ、ドロンクル諸氏の他にも、観察地点の選定はじめ全般にわたる助言と示唆をトゥールーズ大学教授クリネン氏および同助教授ベルト氏から得たし、フランス語テープの再生に当ってはカオール高校教授エレイユ氏の協力によって正確を期することができた。またバルセロナのカタロニア研究所副所長アラモン・イ・セルラ氏と、同市在住のエウジェニ・スロス夫妻からは、とくにスペイン側のカタロニア語事情について懇切な教示を受けた。

さらにスペイン側の観察地点ピラドラウでは、同地在住のパジェス一家、クリネン嬢、およびバルセロナ大学教授未亡人ボフィリュ夫人の協力で、調査を円滑に行うことができた。附記して謝意を表する。

I

Bolquère, 13 VIII 1973.
Monsieur Antoine BOLFA,
secrétaire de la Mairie.

1. Question: Monsieur, excusez-moi de vous demander votre nom.
Réponse: Je m'appelle BOLFA, Antoine.
2. Q.: Vous êtes né en quelle année?
R.: Je suis né en mil neuf cent treize.
3. Q.: Vous êtes natif de ce village, n'est-ce pas?
R.: Oui.
4. Q.: Vous avez beaucoup de travaux ici, sans doute?
R.: Oui, il y en a beaucoup.
5. Q.: Vous êtes le secrétaire de cette mairie depuis...?
R.: Mil neuf cent cinquante-sept.
6. Q.: Où travailliez-vous avant que vous ayez obtenu votre poste actuel?
R.: J'étais propriétaire exploitant agricole dans la commune.
7. Q.: Et votre père était aussi secrétaire?
R.: Non, il n'était pas secrétaire.
8. Q.: Votre père est-il aussi natif de ce village?
R.: Oui.
9. Q.: Et votre mère?
R.: Non.
10. Q.: Et vos grands-parents?
R.: Oui.
11. Q.: Votre grand-père a appris le français à l'école?
R.: Très peu.
12. Q.: Vous m'avez dit l'autre jour que votre grand-père ne parlait que le catalan. Alors, est-ce qu'il l'avait appris à l'école ou dans sa famille?

II

Bolquera, 17 VIII 1973.
Senyor Antoni BOLFA,
secretari de Ajuntament.

1. Qüestió: *Monsieur*, excuseu-me d'us demanar el vostre nom.
Resposta: Jo me dic BOLFA, Antoine.
2. Q.: En quin any heu neixit?
R.: Som neixit en mil nou cent tretze.
3. Q.: És que seu neixit en aquèl vilatge?
R. Sí, som neixit en aquèl vilatge.
4. Q.: Teniu... teniu força treball aquí, segurament?
R.: Sí, tenim força treball i siurtot que és un vilatge agrícola i... i ara s'ha donat un xic al turisme, això fa que això dona un suplement de treball.
5. Q.: Seu secretari d'aquesta *mairie* depuis quan?
R.: Som secretari d'aquesta *mairie* depuis l'any mil nou cent cinquanta set, el primer de gener.
6. Q.: A on treballàveu abans hagueu pres el posta actual?
R.: Abantes de prendre el secretariat de la *mairie*, treballava com pagès a l'explo-tació del meu pare.
7. Q.: És que el vostre pare era també secretari?
R.: No, ell havia estat pagès tota la seva vida.
8. Q.: El vostre pare era... era naixit en aquèl vilatge?
R.: Sí.
9. Q.: La vostra mare?
R.: No.
10. Q.: Els vostres avis?
R.: Sí. El meu avi...
11. Q.: El vostre avi via après el francès a l'escola?
R.: Sí, *mais* molt poc, en aquell temps frequentaven pas massa l'escola.
12. Q.: Ens veu dir l'altre dia que el vostre avi no parlava que... qu'el català. Allavors és que ell havia après l'escola o la seva família?

III

En català correcte.
Perpinyà(Perpignan), 11~20 IX 1973.
Senyor Lluís ESTEVE.

1. Qüestió: Senyor, excuseu-me de demanar-vos el vostre nom.
Resposta: Jo em dic BOLFÀ, Antoni.
2. Q.: En quin any heu nascut?
R.: He nascut en mil nou cents tretze.
3. Q.: És que heu nascut en aquest poble?
R.: Sí, he nascut en aquest poble.
4. Q.: Teniu força treball, aquí, segurament?
R.: Sí, tenim força treball i sobretot, com que és un poble agrícola que ara s'ha llançat un xic al turisme, això fa que ens dona un suplement de treball.
5. Q.: Sôu Secretari d'aquest Ajuntament des de quan?
R.: Sóc Secretari d'aquest Ajuntament des de l'any mil nou cents cinquanta set, el primer de gener.
6. Q.: On treballàveu abans de tenir (o ocupar) el lloc actual?
R.: Abans de prendre el Secretariat de l'Ajuntament treballava de pagès, a la propietat del meu pare.
7. Q.: És que el vostre pare era també Secretari?
R.: No, ell havia estat pagès tota la seva vida.
8. Q.: El vostre pare havia nascut en aquest poble?
R.: Sí.
9. Q.: La vostra mare?
R.: No.
10. Q.: Els vostres avis?
R.: Sí.
11. Q.: El vostre avi havia après el francès a l'escola?
R.: Sí, però molt poc, car en aquell temps freqüentaven poc l'escola.
12. Q.: Ens vàreu dir, l'altre dia, que el vostre avi només parlava català, Llavors, és que l'havia après a l'escola o dins de la seva família?

IV

備 考

第II欄の質問はいずれも、報告者がフランス語で行った質問を話者がカタロニア語で繰返したものである。

第II欄中のイタリック部分は、無意識に混入しているフランス語である。一見カタロニア語の形をとっていても、フランス語の発想に規定されている語法や語彙は余りに多くて一々指摘する煩に耐えない上、第III欄との比較によって容易に検出できると思われるので、そのままとした。明瞭なフランス語のみをイタリックにしてある。

第I欄におけるイタリック部分は、語法・文法上の誤りをそのまま記録したことを示す。この話者の場合、フランス語中にカタロニア語が無意識に混入する現象は見られない。カタロニア語をイタリックで示した箇所がある(I 60, 61)が、これも明らかに意図的に用いられている。

本テキストに見られる語学上の特徴については、解析のすみ次第、別稿として逐次発表の予定であるが、本テキストを資料として閲覧に供する便宜上、さしあ

- R.: Oui, à l'époque, mon père... mon grand-père ne parlait que le catalan. Et il l'avait appris dans sa famille.
13. Q.: En votre enfance, est-ce qu'on parlait uniquement le catalan dans votre famille?
R.: Oui.
14. Q.: Et parmi vos voisins?
R.: Aussi.
15. Q.: Vous êtes marié en quelle année?
R.: Alors là, je ne suis pas marié... (*inaudible*)
16. Q.: Je suppose que vous avez beaucoup d'expériences de la vie.
R.: En effet, oui.
17. Q.: Pendant la Première Guerre Mondiale?
R.: Alors là, je vois... j'explique un peu ce que... bon, euh, pendant... je n'ai guère de notion de la Première Guerre Mondiale du moment que j'étais très jeune... Je n'avais que... un an lorsque la Guerre s'est déclarée, Et j'avais cinq ans lorsque la Guerre a fini. Mon père a été mobilisé pendant toute la durée de... de la Guerre quatorze-dix-huit. Alors je n'ai que des vagues souvenirs d'enfance, de... de l'arrivée de mon père lorsque il venait en permission ou... vous voyez, je n'ai pas de notion sur la Guerre de quatorze-dix-huit.
18. Q.: Et pendant la deuxième Guerre Mondiale?
R.: Pendant la deuxième Guerre Mondiale, j'ai été mobilisé en mil neuf cent trente-neuf, j'ai fait la guerre et j'ai été prisonnier... le... le onze juin mil neuf cent quarante. J'ai passé cinq années de captivité en Allemagne. Je suis revenu le trente et un mai mil neuf cent quarante-cinq. Alors là... bien entendu, j'ai de très mauvais souvenirs de cette période. Nous avons
- R.: El meu avi havia après de parlar el català a la seva família. Perquè en aquell moment, a l'escola ja no l'ensenyaven més, i no aprenien que un xic el francès.
13. Q.: A la vostra *enfance* és que parlaven únicament el català a la vostra família?
R.: Sí.
14. Q.: I amb els veïns?
R.: També.
15. Q.: És que seu casat en quin any?
R.: No, som pas casat. Som fadri.
16. Q.: Suposi que teniu molta experiència de la vida. *Pendant* la primera guerra mundiala i *pendant* la segona guerra mundiala?
R.: Sí, a la meua edat ja comenci a tenir bastanta experiència de la vida. *Mais*, del meu record, la primera guerra mundial, era molt jove, tenia que quatre o cinc anys i en tinc pas cap record. Per contra de la segona guerra mundiala, en tinc records molts dolents. Per la... m'en recó que vai passar cinc anys de prisoner en Alemanya i vem patir força físicament i encara més moralment. Això fa que em va deixar un record molt dolent.

R.: El meu avi havia après de parlar català dins de la seva família. Perquè en aquell moment, a l'escola ja no l'ensenyàven més, i no aprenien que un xic el francès.

13. Q.: A la vostra infantesa, és que parlàveu únicament el català amb la vostra família?

R.: Sí.

14. Q.: I amb els veïns?

R.: També.

15. Q.: És que s'ou casat? En quin any?

R.: No, no sóc pas casat. Sóc fadrí.

16. Q.: Suposo que teniu molta experiència de la vida. Durant la primera guerra mundial i durant la segona guerra mundial?

R.: Sí, a la meua edat ja començo a tenir bastanta experiència de la vida. Però, en el meu record, per la primera guerra mundial, jo era molt jove, sols tenia quatre o cinc anys i no tinc pas cap record. Per contra, de la segona guerra mundial, en tinc records molt dolents. Me'n recordo que vaig passar cinc anys de presoner a Alemanya i vaig patir força, físicament i encara més moralment. Això fa que em va deixar un record molt dolent.

たり必要と思われる点のみ摘出して以下に略記する。

〔I〕第Ⅰ欄について

(1) 否定の副詞 *ne...pas* の *ne* が時に脱落しているが、これは現代フランス語会話ではしばしば耳にする現象で、この話者の特例ではない (41-*l.* 18, 70-*l.* 16)。

(2) 話者は *il y a*, *il y avait* の主語代名詞 *il* をほとんどの場合省略して、つまり *il* を喰べてしまう傾向がある。これも現代フランス語会話では頻繁に耳にするもので、該当箇所は特示しない。

(3) 82-*l.* 11 の *que ils les orientent...* を *qu'ils les orientent* の如くしなかったのは、録音した会話をできるだけ忠実に文字転写することを旨としたためである。同種の例は 90-*l.* 4 その他にも見られる。

〔II〕第Ⅱ欄について

(1) カタロニア語の単語をフランス語風に発音しているため、表記の上で第Ⅲ欄と異なる箇所がある。これを以下 (a) 音韻 (b) アクセントの二つに大別して略述する。

(a) 音韻

(i) 19-*l.* 1 の *frequenteu* は、第Ⅲ欄では *fre-qüenteu* になっている。これは、標準カタロニア語では上向二重母音を含む一音節を形成する *-qüen-* (*kwən*) を、第Ⅱ欄の話者が単母音の一音節 (*kən*) で発音していることによる。フランス語の発音の影響と見られるこの現象は、次の各項各行にも指摘できるかなり顕著な特徴である。1-*l.* 1, 11-*l.* 4, 20-*l.* 3, 54-*l.* 16, 92-*l.* 4。

(ii) 57-*l.* 1 の *introduir* は語頭の音節を (*ən*) と発音していることを示す。標準カタロニア語では第Ⅲ欄のように *in-* (*in-*) である。

(iii) フランス語 *principe* に対応するカタロニア語のⅡ欄における表記については、(3)の発音のぶれの項を参照されたい。

(b) アクセント

(i) 13-*l.* 2 のフランス語 *uniquement* に対応するカタロニア語は、標準的発音では第一音節に強勢があり、正書法は *únicament* だが、第Ⅱ欄の話者はフランス語における副詞と同様、最終音節に強勢をかけている。この場合、表記上は強勢符号を必要としない。また 20-*l.* 4 の *Belgica* も、正しくは第一音節に強勢があるが、第Ⅱ欄の話者はやはりフランス語風に *-gi-* に強勢を置いている。この点、第Ⅱ欄と第Ⅲ欄を比べて表記に相違があるのは、叙上の理由によ

beaucoup souffert, et donc notre santé principalement et notre morale également a beaucoup souffert.

19. Q.: Quelle ville fréquentez-vous le plus souvent?

R.: Je vais très souvent à Perpignan.

20. Q.: Est-ce que vous avez été à l'étranger?

R.: J'ai visité un peu l'Espagne.

21. Q.: Qu'est-ce que vous connaissez de mon pays, le Japon?

R.: Là, je ne connais pratiquement rien du tout, si ce n'est que j'ai eu... le quatorze juillet dernier... nous avons eu le Foment de la Sardana, c'est-à-dire les danseurs catalans. Ils sont venus ici à Bolquère pour... pour la fête et ils m'ont expliqué leur séjour chez vous, au Japon. Voyez, ils sont allés danser chez vous, danser et ils en ont rapporté un très bon souvenir. Ils en sont plus que satisfaits.

22. Q.: Et il y a combien d'années?

R.: Ils y sont allés peut-être... l'année dernière, le quatre septembre mil neuf cent soixante-douze. Vous voyez, alors, d'après eux, c'est un pays qui leur a beaucoup plu. Ils ont été très bien reçus, très bien accueillis et ils en ont rapporté le meilleur souvenir possible.

23. Q.: Ah oui. Nous ne savions pas qu'il y a déjà la relation intime entre le Japon et la Cerdagne.

R.: Oui, oui... bon, alors.

24. Q.: Dans la vie agricole de ce village, lequel est le plus important: élevage, blé ou viticulture?

R.: Alors, ici, nous avons la polyculture.

25. Q.: Polyculture?

R.: Oui, polyculture, voyez. Il y a les céréales, la pomme de terre... vous voyez.. céréales et pomme de terre, c'est-à-dire, oui, y a le blé, et le seigle, l'orge et

19. Q.: Quina vila frecuenteu el més sovint?

R.: De preferència vai sempre a Perpinyà que és la vila la més prop que tenim aquí, del vilatge.

20. Q.: És que heu estat a l'estranger?

R.: Hai estat un xic a Espanya i per les conseqüències de la guerra hai travessat la Belgica, la Holanda i una partida de l'Alemanya.

21. Q.: Què coneixiu del meu país, el Japon?

R.: Pràcticament del Japon en coneixi pas res sinò qu'hai llegit quelques revistes. *Mais*, el dia del catorze de Juliol d'aquest any vai tenir una entrevista amb un Senyor del Foment de la Sardana de Perpinyà que van venir al Japon a ballar i em van portar un record molt favorable... *(inaudible)*... van tenir un *accueil* força simpàtica i... me va donar la impressió que el vostre país...

24. Q.: Dins de la vida agrícola d'aquêt vilatge, quin és el més important: l'elevatge, el blat o la viticultura?

R.: En aquêt vilatge es practica la policultura. *C'est-à-dire* que se fa el blat, el segle, la... l'ordi, la civada i les trumfes. I l'elevatge. Més que més se fa l'elevatge bovi, *c'est-à-dire* que fem la llet i... i el vedell de... el vedell jove, de la carnisseria. De viticultura n'hi ha pas perquè hi ha pas fructers ni vinya.

19. Q.: Quina ciutat freqüenteu més sovint?

R.: Amb preferència vaig sempre a Perpinyà, que és la ciutat que aquí tenim més aprop del poble.

20. Q.: És que heu estat a l'estranger?

R.: He estat un xic a Espanya, i per les conseqüències de la guerra he atravesat Bèlgica, la Holanda i una part de l'Alemanya.

21. Q.: Què coneixeu del meu país, el Japó?

R.: Pràcticament del Japó no en conec res, fora d'haver llegit algunes revistes. Però, el dia catorze de Juliol d'aquest any vaig tenir una entrevista amb un Senyor del Foment de la Sardana de Perpinyà que va anar al Japó a ballar i en va portar un record molt favorable per l'acollida tan simpàtica, i em va donar l'impressió que el vostre país...

24. Q.: En la vida agrícola d'aquest poble, què és el més important: la cria, el blat o la viticultura?

R.: En aquest poble es practica la policultura. Vol dir que es fa blat, segle, ordi, civada i les trunfes (patates). I la cria. El que es fa més és la cria de bestiar bovi, o sigui, fem la llet i el vedell, el vedell jove de la carnisseria. La viticultura, no en tenim pas perquè no tenim ni (arbres) fruiters ni tampoc vinya.

る。同種のアクセントの移動はきわめて顕著で、以下Ⅱ欄、Ⅲ欄を対照しながら該当箇所を列挙する。

16-*l.* 12, físicament-físicament, 21-*l.* 2, 57-*l.* 9, práticamente-práticamente, 21-*l.* 9, simpática-simpática, 24-*l.* 1, 27-*l.* 1, 30-*l.* 2, agrícola-agricola, 27-*l.* 10, machines-màquines, 30, quilò (quilòs)-quilo (quilos), centimes-cèntims, 54-*l.* 13, mecaniques-mecàniques, 54-*l.* 16, número-número, 59-*l.* 7, musica-música, 77-*l.* 16, quilometre-quilòmetre, 92-*l.* 21, únicament-únicament.

(a) 但し第Ⅱ欄でも、30-*l.* 2 及び 74-*l.* 7 では únicamente と語頭にアクセントをかけている。これは発音におけるぶれの問題でもあろう。

(2) 先述のケースとは逆に、話者がカタロニア語に無意識に混じたフランス語の単語をカタロニア語風に発音している箇所がある。

(i) à peu près の près は、どの場合でも {prez} と発音されている。すなわち、第一は、次に来る単語が有聲子音で始まるためそれに同化された場合。第二は、次に来る単語が母音で始まる場合のリエゾン現象で、前者はカタロニア語とスペイン語、後者はカタロニア語とフランス語に見られる現象である。該当箇所は 30-*l.* 13, 42-*l.* 2, 77-*l.* 23, 83-*l.* 4, 87-*l.* 1, 89-*l.* 5.

(ii) これと同種の現象として、次の単語は語尾の子音 s が発音されている。s の前に母音 e を伴うものは {əs} という発音になる。77-*l.* 4, écoliers, 77-*l.* 7, cours, 87-*l.* 6, Pyrénées-Orientales {pirenez-orientaləz}, 87-*l.* 10, dossiers, 89-*l.* 1, chances.

(iii) 以上とは反対に、フランス語では発音さるべき語尾子音が脱落しているケースが一つある。すなわち 89-*l.* 3, *l.* 21 の l'avenir {lavəni} である。カタロニア語では末尾の r が発音されない場合がかなり多い。

(3) 話者が使用するカタロニア語の中で、同じ単語でも音韻またはアクセントの上でぶれを示す箇所が見られる。むしろ、これは正常な会話においても或る程度あらわれはするが、Ⅱ欄の場合はフランス語からの牽引による混乱や、規範文法に関する知識の曖昧さからくる躊躇などがその原因として想定されるので、以下に特示しておく。

(i) mundiala (16-*l.* 2, *l.* 3, *l.* 9)-mundial (16-*l.* 6).

(ii) cents {sents} (27-*l.* 5, *l.* 6, 57-*l.* 5,

l'avoine... vous voyez... en céréales, et les pommes de terre. Il n'y a pas de viticulture. Et puis, y a l'élevage... l'élevage, alors, maintenant y a principalement le bétail bovin... n'est-ce pas?... et quelques juments poulinières... quelques juments poulinières, voyez... l'élevage de... de... des petits chevaux... des chevaux, voyez-vous, oui. Et dans le temps y avait l'élevage du mouton. Mais maintenant comme on ne trouve plus de bergers pour les garder, voyez, alors, l'élevage des moutons a disparu.

26. Q. : La situation a été changée?

R. : La situation est changée. Mais on continue toujours l'élevage de... du gros bétail, voyez. Et surtout on fait le... le lait. Le lait. Oui, voyez, l'élevage du veau et le lait. C'est le plus grand rapport pour l'agriculteur. Oui.

27. Q. : Depuis quand la mécanisation agricole a-t-elle commencé?

R. : En principe elle a commencé après la Guerre de mil neuf cent quarante-cinq, voyez. Avant, c'était tout traction animale. Y avait déjà des... des faucheuses, vous voyez, des moissonneuses, tout ça, mais en traction animale. Tandis que, après quarante-cinq, mettons en gros vers mil neuf cent cinquante, les premiers tracteurs ont apparu dans la commune.

28. Q. : C'est mil neuf cent cinquante?

R. : Cinquante à peu près (*inaudible*)... et puis, voyez, je ne peux pas vous préciser juste l'année, oui, vers mil neuf cent cinquante. Et puis, chaque année elle s'est développée, vous voyez, en commençant par les tracteurs, puis il est venu les charries, les faucheuses avec eux.

29. Q. : Nous avons déjà vu beaucoup de mécanisation.

R. : Oui, oui, maintenant oui, maintenant c'est tout... c'est tout mécanique, vous voyez. Tandis que au début on commençait à avoir le tracteur et les charries, et la barre de coupe pour faucher... vous voyez... mais après il est venu les épandeurs, il est venu les presses... et les moissonneuses-batteuses. Maintenant c'est tout mécanique. On ne travaille plus avec les... les animaux.

30. Q. : Combien d'hectares faut-il pour qu'un ménage uniquement agricole maintienne sa vie?

R. : Là, c'est un peu plus difficile, vous

27. Q. : *Depuis* quan la mecanisació agrícola és començada?

R. : En prencipe, la mecanisació agrícola va començar après de la guerra de quaranta-cinc, cap en als anys mil nou cents quaranta-vuit o mil nou cents cinquanta, qui va començar d'arribar els primers tracters a la comuna i... em seguit un xic cada any. Els propietaris s'han modernisat i han cromptat les altres machines necessàries a l'explotació.

30. Q. : Quant d'hectares cal per qu'un matrimoni únicament agrícola pugui viure? Quantes hectares ha un pagès *en moyenne*?

R. : Per qu'un matrimoni pugui viure nor-

87-*L.* 7, *L.* 8)-cent (sen) (2-*L.* 2, 30-*L.* 14, *L.* 16, *L.* 20, etc.).

(v) principi (43-*L.* 2, 54-*L.* 2)-prencipe (53-*L.* 3)-principe (62-*L.* 2).

(=) unicament-únicament のアクセントのぶれについては(1)-(b)-(f)及び(h)で既述。

(4) 標準カタロニア語の正書法による綴りにはない *aquet* を多用しているが、これは正書法が普及する以前のルシヨン地方の文学作品にしばしば見られる形で、ルシヨン方言と思われる。以下に行数は特記せず項目ナンバーのみ掲げる。3, 8, 24, 30, 57, 59, 77, 89, 91, 92.

〔Ⅲ〕第Ⅲ欄について

Ⅲ欄のカタロニア語は、文法も表記も規範化された標準語のそれで、きわめて正確であり、Ⅱ欄における言語の腐蝕状況やルシヨン方言の特徴を逆照射するのに便利だが、にもかかわらず、表記上の誤謬がまったくないわけではない。短期間内での早急な筆記による単純な書き誤りと思われるものもあるが、同一語ないし同一パターンの誤謬が繰返されていて、筆者自身の表記法の間違いと見られるものもある。次に該当箇所及び正書法による綴りを掲げる。括弧内が正書法である。

5-*L.* 1, dès (des), 5-*L.* 1, 15-*L.* 1, sòu (sou), 11-*L.* 4, freqüentàven (freqüentaven), 12-*L.* 7, ensenyàven (ensenyaven), 19-*L.* 3, 77-*L.* 1, ès (és), 24-*L.* 6, 30-*L.* 26, 53-*L.* 9, trunfes (trumfes), 30-*L.* 28, quatorze (catorze), 54-*L.* 1, Que (Què), 57-*L.* 1, introduïr (introduir), 57-*L.* 4, vam (van), 57-*L.* 10, estàn (estan), 74-*L.* 8, comprén (comprèn), 89-*L.* 13, 92-*L.* 21, sóm (som), 89-*L.* 24, perquè (perquè), 92-*L.* 12, *L.* 16, després (després), 92-*L.* 16, Pasqua (Pasqua).

27. Q.: Des des quan va començar la mecanització agrícola?

R.: En principi, la mecanització agrícola va començar després de la guerra del quaranta-cinc, cap als anys mil nou cents quaranta-vuit o mil nou cents cinquanta, quan van començar a arribar els primers tractors a l'Ajuntament... i ha anat seguint, un xic cada any. Els propietaris s'han modernitzat i han comprat altres màquines necessàries a l'explotació.

30. Q.: Quantes hectàrees calen per a que un matrimoni únicament agrícola pugui viure? Quantes hectàrees té un pagès en mitjana?

R.: Per a que matrimoni pugui viure

I 30において la question dix-huit とあるのは、当初の話題項目表の番号を指すもので、このテキストにおいては第30項に相当する。

voyez, la question dix-huit. Le mot ménage ... vous considérez *que* uniquement le mari et la femme, ou vous y englobez, incorporez les enfants?

malement, cal comptar entre vint i vint-i-cinc hectares. I... amb deducció, per qu'un ... un pagès pugui viure també normalment, cal comptar una *moyenne* de cinc hectares. Per donar una importància en aqueix rensenyaments que us vinc de donar, calria considerar que... un hectara, en aquet vilatge d'aquí de Bolquera, en que contenen els cereals, reproduceix *à peu près* dos mil cinc cent quilòs de segle. Doncs al dia d'avui se venen a cinquanta centimes el quilò, faria mil dos cent cinquanta francs. El blat dona un xic menus. I allavortes calria comptar, dins d'aqueixa explotació, mitj hectara de blat que donarien onze cent quilòs, a cinquanta cinc centimes el quilò, donarien sis cent cinc francs. Mitj hectara d'ordi o civada que donen un rendement de nou cent quilòs, a quaranta cinc centimes, donaria quatre cent cinc francs. I mitj hectara de trumfes, allavores, donen dos mil quilòs, a setanta centimes el quilò, donaria mil catorze cent francs. El raport d'aqueixes dos hectares i mitja, amb terra cultivable, seria des tres mil seixan... sis cent sixty francs. Allavantes, aquí hi cal ajustar dos hectares i mitja de prat, que serà pel... per collar l'herba per bestiar, que donarien, aproximativament, nou mil quilòs. Amb aqueix nou mil quilòs se pot norir tres vaques lleiteres. Una vaca lleitera produeix una lactació, posem, de vuit mesos, i un vedell venut a cent quilòs de carn, a vuit francs el quilò. Doncs, el vedell donaria vuit cent francs i dos mil cinc cent litres de llet a sixty francs el litre, donarien quinze cent francs. El raport anual d'aqueixes dos hectares i mitja seria de dos mil tres cent francs. Allavores, reunint el raport de dos hectares i mitja de terra, dos hectares i mitja de prats, donarien un revingut anual de sis mil nou cent, més tres mil sis cents sixty, faria un milló cinc cents sixty mil francs. Això és un revingut brut.

31. Q.: Je pense par ce mot un ménage le père et la mère, et un ou deux enfants.

R.: Alors là, pour que le ménage vive correctement, n'est-ce pas, il faut compter quand même entre vingt et vingt-vingt hectares. Voyez, pour une famille de quatre personnes, oui, il faut compter entre vingt et vingt-cinq hectares, vingt-cinq, ici dans le village, n'est-ce pas. Parce que... il faut ... il faut que ces hectares se répartissent

normalment, cal comptar entre vint i vint-i-cinc hectàrees. I, amb deducció, per a que un pagès pugui viure també normalment, cal comptar també una mitjana de cinc hectàrees. Per a donar una importància a aquestes dades que us acabo de donar, caldria considerar que... una hectàrea, en aquest poble d'aquí de Bolquera, en que es fan molts cereals, es produeixen, aproximadament, dos mil cinc cents quilos de segle. Així doncs, en el dia d'avui es venen a cinquanta cèntims el quilo, el que faria mil dos cents cinquanta francs. El blat dona un xic menys. I llavors caldria comptar, per aquesta finea, mitja hectàrea de blat que donarien mil cent quilos, a cinquanta cinc cèntims el quilo; donarien sis cents cinc francs. Mitja hectàrea d'ordi o civada, que donen un rendiment de nou cents quilos, a quaranta cinc cèntims, donaria quatre cents cinc francs. I mitja hectàrea de trunfes (patates), llavors donen dos mil quilos, a setanta cèntims el quilo, donaria mil quatorze cents francs. El raport d'aquestes dues hectàrees i mitja, amb terra cultivable, seria de tres mil sis cents seixanta francs. Llavors, aquí cal afegir-hi dues hectàrees i mitja de prat que serà per a collir herba pel bestiar, que donarien, aproximadament, nou mil quilos. Amb aquests nou mil quilos es pot nodrir tres vaques lleteres. Una vaca lletera produeix una lactació, posem, de vuit mesos, i un vedell venut a cent quilos de carn, venut a vuit francs el quilo. Doncs, el vedell donaria vuit cents francs i dos mil cinc cents litres de llet, a seixanta francs el litre, donarien mil cinc cents francs. El raport anual d'aquestes dues hectàrees i mitja seria de dos mil tres cents francs. Llavors, reunint el raport de dues hectàrees i mitja de terra, dues hectàrees i mitja de prat, donaria un revingut anual de sis mil nou cents francs, més tres mil sis cents seixanta, faria un milió cinc cents seixanta mil francs. Això és un revingut brut.

... en partie pour le... pour la nourriture de bétail, voyez, les prés de fauche, pour *emmaganiser*, ah, emmagasiner le fourrage pendant l'hiver, et le reste pour les pâturages d'été. Et puis, la partie qui va pour les céréales et les pommes de terre, pour avoir le grain et la paille pour les animaux.

32. Q. : Ah oui.

R. : Voyez-vous?

33. Q. : Ah, c'est comme ça. Et monsieur, est-ce qu'on peut dire que cette région est favorisée au point de vue de climat?

R. : Euh... pas tellement, parce que nous avons les hivers très longs. Voyez-vous, ici il faut compter cinq mois d'hiver.

34. Q. : Cinq mois d'hiver?

R. : Oui. La neige commence à tomber, mettons, vers le vingt novembre, du vingt novembre début décembre, voyez-vous, et elle reste pratiquement *jusque début* d'avril, voyez. Alors, c'est long. Nous sommes avantagés par le climat, parce que c'est un climat sain qui est sec, nous avons beaucoup de soleil. Mais au point de vue *agriculture*, nous sommes défavorisés par la longueur de l'hiver.

35. Q. : Ah oui.

R. : Il faut... il faut avoir beaucoup de pâturages pour... pour ramasser la nourriture du bétail, parce que la bétail est, pendant cinq mois, continuellement alimenté à l'étable. *Ça nous diffère déjà*, voyez-vous, avec la Basse-Cerdagne, vous voyez, qui *sont déjà* à mille cinq cents mètres d'altitude. Alors ils gagnent un mois *automne*, du moins quinze jours en automne, et un bon mois au printemps. Nous sommes juste sur la crête.

36. Q. : Ah.

R. : Voyez, Nous avons le versant espagnol de ce côté, le versant français de l'autre, mais ça descend dans les vallées, tandis que nous autres, nous sommes juste au point culminant de la culture, ici, dans cette région. C'est pour ça que nous sommes légèrement défavorisés par... par le climat au point de vue agricole. A présent, au point de vue touristique, nous, nous sommes favorisés.

37. Q. : En hiver, il fait combien de température?

R. : Oh, le maximum, ici au village, moins quinze.

38. Q. : Moins quinze!

R. : Oui, moins quinze, le maximum, vous voyez. A présent, plus haut, c'est, ça arrive à moins vingt sur les pistes. Mais ça, c'est les hivers très rigoureux. Ce n'est pas... ce n'est pas toutes les années, voyez-vous. *Une moyenne*, il faut compter... *des minima* de... moins huit, moins dix. Là il faut compter quand même, pendant les nuits. Pendant le jour ça se réchauffe parce que nous avons le soleil. C'est ça qui nous favorise. Nous sommes mieux avantagés ici, vous voyez, qui sommes à mille six cent mètres d'altitude que certaines régions à l'intérieur de la France qui ne sont qu'à sept et huit cents. C'est plus froid, plus humide, plus de brouillard, et tout ça, voyez-vous. C'est ça... oui.

39. Q. : La situation...

R. : Eh oui, *c'est* le climat, vous voyez, évolue suivant la profession que l'on fait. Alors là, en revenant aux hectares pour un agriculteur en moyenne, il faut compter quand même cinq hectares.

40. Q. : Cinq... cinq hectares?

R. : Cinq... cinq hectares, voyez-vous?

41. Q. : Le moyen?

R. : Une moyenne, il faut compter ça. A moins ce serait déjà dur, quoique maintenant la petite exploitation, vous voyez, a presque complètement disparu, parce qu'il n'y a plus les moyens comme avant pour pouvoir travailler. Avant y avait beaucoup plus de personnel dans la maison, et on s'aidait les uns les autres, avec une propriété plus petite on réussissait à vivre normalement. Tandis que maintenant ce n'est pas possible. Il faut... il faut déjà une... une exploitation d'une trentaine d'hectares, n'est-ce pas, trente, trente-cinq hectares pour avoir le rendement nécessaire pour... pour couvrir tous les frais. Parce qu'y a... je vais vous citer un exemple. Ça enregistre tout le temps?... parce que je me rappellerai pas tout après... Voyez, moi, quand je suis *rentré* au secrétariat de la mairie en mil neuf cent cinquante-sept, y avait quarante-huit exploitations dans la commune. Sur ces quarante-huit exploitations, la plus grande avait une douzaine de têtes de gros bétail, et quelques moutons, voyez, tout ça. Et en dix-huit ans, il ne reste plus que douze exploitations dans la commune. Tout le reste a disparu. Alors, ces douze exploi-

I 41において *Ça enregistre tout le temps?* とあるのは録音機の作動を確めたもので、文意とは関係がない。

tations, voyez-vous, ont affermé les terres ... aux exploitants qui ont disparu, et ils ont agrandi les leurs, et le cheptel communal est sensiblement égal, vous voyez. Parce que là y a beaucoup de vieux agriculteurs qui sont décédés, n'est-ce pas. Les jeunes, y en a pas mal qui sont partis soit dans la plaine, soit dans des... des emplois ... et alors ceux qui restent, vous voyez, se sont regroupés dans l'exploitation de ces gens-là.

42. Q. : Alors là, combien de bétail à peu près en moyenne?

R. : Alors, maintenant les exploitations-là ont une moyenne de vingt à vingt-cinq têtes de gros bétail, c'est la moyenne. Y en a qui en ont beaucoup plus; d'autres, moins, n'est-ce pas. Alors, entre vingt et vingt-cinq têtes de gros bétail de vaches, n'est-ce pas, vaches de rapport.

43. Q. : Tous les paysans sont-ils de cette région?

R. : Oui... oui, oui. Ils sont tous du coin.

44. Q. : Beaucoup de jeunes gens descendent-ils en ville pour travailler?

R. : Oui... oui, enfin les jeunes pratiquement tous. Parce que les jeunes maintenant ont tous la possibilité d'aller davantage en classe, n'est-ce pas, et après l'étude terminée, ceux qui ne continuent pas dans... comment vous dirai-je?... dans les études, ils prennent des emplois, voyez, soit le chemin de fer, les douanes, la police... euh... des choses comme ça. Et ils quittent le pays. Alors là, très peu de jeunes qui restent ici.

45. Q. : Et c'est principalement à Font-Romeu par exemple?

R. : Eh... oui. Oui... (*inaudible*)..., y en a qui s'en vont, hors du département, voyez-vous. Y en a qui sont à Paris, d'autre du côté de Marseille.

46. Q. : Ah, oui.

R. : Oui, voyez, ça dépend de l'emploi qu'ils ont choisi, et où y a des places pour ces emplois pour pouvoir les occuper. Et les quelques jeunes qui restent ici, en été, ils assurent le travail en exploitation fami-

42. Q. : Quands... quant de caps de bestiar té à peu près en moyenne?

R. : Aquí cal fer una *moyenne* deprés de l'exploació. Si prenem una explotació de cinc hectares, pot exportar... pot pas tenir massa més de tres a quatre vaques. Ara, quan més grossa és l'exploació, més la *moyenne* del bestiar és grossa, perquè més n'hi ha, més se pot bé norir el bestiar. Doncs un... un menatge que tindrà entre vint i vint-i-cinc hectares pot arribar a tenir unes quinze... quinze bèsties grosses, que li donaran un raport molt més important qu'una explotació petita.

43. Q. : Tots els pagesos són d'aquesta regió?

R. : Sí, en principi són tots de... o de Bolquera mateix o dels vilatges environants que han vingut.

44. Q. : Molts joves baixen en treballar en vila?

R. : Sí, els joves se'n van de més en més a la vila perquè el treball de la terra és molt ingrat i serren una regió molt difícil. Això fa que preferen prendre un empleu i se'n anar treballar a vila per ésser més tranquils.

42. Q.: Quants caps de bestiar té, aproximadament, en mitjana?

R.: Aquí cal fer una mitjana de l'explotació. Si prenem explotació de cinc hectàrees no pot pas tenir més de tres a quatre vaques. Ara, quan més gran és la finca, més la mitjana del bestiar és grossa, perquè quan més n'hi ha (de prats), millor es pot nodrir el bestiar. Doncs una família que tindrà entre vint i vint-i-cinc hectàrees pot arribar a tenir unes quinze bèsties grosses, que li donaran un raport molt més important que no en una explotació petita.

43. Q.: Tots els pagesos són d'aquesta regió?

R.: Sí, en principi tots són de Bolquera mateix o dels pobles del voltant que hi han vingut.

44. Q.: Baixen molts joves a treballar a la ciutat?

R.: Sí, els joves se'n van, de més en més, a la ciutat perquè el treball de la terra és molt ingrat i es troben en una regió molt difícil. Això fa que prefereixen prendre un empleu i anar-se'n a treballar a la ciutat per a estar més tranquils.

liale, voyez-vous, et en hiver, ils se sont reconvertis comme moniteurs de ski, par exemple, voyez-vous.

47. Q. : Ah, c'est le centre de ski...

R. : Oui, ils vont sur les... sur les pistes de ski, comme moniteurs ou comme... comme employés pour le fonctionnement des... des remontées mécaniques.

48. Q. : Ah, bon.

R. : Voyez, l'été, ils sont à l'exploitation, et l'hiver, ils se sont reconvertis sur les pistes, ce qui est très intéressant pour eux.

49. Q. : Y a-t-il encore des transhumances ici?

R. : Ah, oui, y en a encore. Y a le... le gros bétail de Cerdagne qui monte en transhumance au Massif du Carlit.

50. Q. : Ah, le Carlit.

R. : Au Carlit, voyez-vous, oui. Y a, en gros, mettons, un millier de têtes de bétail.

54. Q. : Un millier?

R. : Un millier entre juments... et vaches... voyez, il faut compter à peu près... qui viennent de la Basse-Cerdagne et ils vont dans les alpages toute la saison d'été, et redescendent au mois d'octobre dans les pacages.

52. Q. : Ah, le bétail... en troupeau?

R. : Oui, alors oui, c'est un grand troupeau, oui.

53. Q. : Les paysans sont-ils les plus occupés en quelle saison?

R. : C'est maintenant, en été. Maintenant, à partir du quinze... du quinze avril, voyez-vous, y a les semailles de printemps. On sème au printemps le blé de printemps, les orges et les pommes de terre. Puis y a l'entretien des pâturages, et le travail le plus... le plus conséquent, c'est maintenant. La rentrée des foin, la fenaison... voyez-vous, et la moisson. Et puis, la rentrée des pommes de terre, en automne. Alors, l'occap... l'occupation la plus importante, mettons. c'est du quinze juin *début octobre*. C'est le moment de la rentrée des récoltes.

54. Q. : Alors, qu'est-ce qu'ils font en hiver?

R. : Bon, là, en partie je vous l'ai dit. Les anciens restent à la ferme, et alors là, ils soignent le bétail, voyez-vous. Comme le bétail ne peut pas sortir, qu'il y a de la neige, alors là, ils lavent, ils les soignent, ils leur donnent à manger, ils les nettoient,

49. Q. : Y a-t-il transhumances encara aquí?

R. : Sí, encara puja el bestiar de Cerdanya que venen a passar tota l'estivada a les muntanyes de Carlit.

53. Q. : Els pagesos són ocupats el més en quina *saison*?

R. : En principi els pagesos tenen forces ocupacions del mes de juny al mes d'octubre, és a dir, al moment que semblen els camps, el mes de juliol quan hi ha la recolta de l'herba, el mes d'agost quan se sega, i emprès a l'octubre per acabar d'entrar les trumfes i tornar a sembrar la... el gra d'hivern.

54. Q. : Què fan en hivern?

R. : A l'hivern, en principi, no fan que se cuidar del bestiar, els hi donen menjar, els emuyen, els netegen, preparen tota la... els mesclats i tot per la... per l'endema, i trenquen un xic de llenya per se poder escalfar els quins encara no tenen el mazut.

49. Q.: Hi han transhumàncies, encara?

R.: Sí, encara puja el bestiar de la Cerdanya i venen a passar tota l'estivada a les muntanyes de Carlit.

53. Q.: Els pagesos, en quina estació es troben més ocupats?

R.: En principi els pagesos tenen forces ocupacions des del mes de Juny fins al mes d'Octubre, és a dir, al moment en que sembraven els camps; pel mes de Juliol, quan hi ha la collita de l'herba; pel mes d'Agost, quan es sega, i després per l'Octubre, per a fer entrar les trunfes (patates) i tornar a sembrar el gra de l'hivern.

54. Q.: Que fan a l'hivern?

R.: A l'hivern, en principi, no fan altra cosa que cuidar del bestiar, els hi donen menjar, els munyeixen, els netegen, preparen tota la barrija i tot per a l'endema, i trenquen un xic de llenya per a poder-se escalfar els quins encara no tenen el ma-

II 54, III 54において número vint-i-sis とあるのは、このテキストの I 55, 56を指す。

ils *traient* les vaches le matin... matin et soir. C'est l'occupation principale, et puis, ils s'occupent de... et encore maintenant pas tellement. Parce que maintenant tout s'est modernisé, y a déjà des chauffages *centraux*, y a le mazout, vous voyez; mais avant, on fendait le bois pour se chauffer, voyez.

55. Q.: Quel est le plus grand amusement des habitants?

R.: En ce moment, les amusements ne sont plus le même comme... (*inaudible*)... dans le temps, lorsqu'il n'y avait pas la télévision, vous voyez. Alors, les gens se réunissaient au café par exemple, ou on veillait chez les voisins. Et alors là, y avait des parties de cartes, on chantait, on racontait des histoires, on passait des veillées, voyez-vous. Maintenant, presque dans chaque foyer y a la télévision, alors chacun reste chez soi par le programme qu'il choisit... ha, ha, voyez-vous.

56. Q.: Et pour les jeunes gens?

R.: Pour eux, c'est un peu différent, voyez-vous. Dans le temps également, tous les jeunes, on s'amusait au village même. Y avait une salle de bal, vous voyez, y avait un pick-up; on dansait, on s'amusait dans le village. Maintenant les jeunes s'en vont. Voyez, dans le petit village comme ça, y a plus rien. Alors, ils vont soit à Font-Romeu par exemple, à Saillagouse, à Bourg-Madame, et là, y a des... des Maisons de Jeunes, vous voyez, ou des cinémas ou des bals; enfin ils ont des réunions comme ça, maintenant.

57. Q.: A quelle date on a introduit la télévision dans ce village?

R.: Il faut compter... je ne me rappelle pas très bien... mais c'est vers mil neuf cent cinquante-huit ou soixante, à peu près, vous voyez. Avant, non, parce que nous n'avions pas de poste-émetteur dans... dans la région. Alors il a fallu attendre qu'ils placent de poste-émetteur pour que la population achète la télévision. Alors il faut compter à peu près, à une année près, entre mil neuf cent cinquante-huit et mil neuf cent soixante, que les premières télévisions ont été dans le village.

58. Q.: Et maintenant, elle se trouve dans toutes les familles?

R.: Maintenant oui, elle se trouve pratiquement dans toutes les familles, oui,

Ara, hi ha quelques joves que han modificat la seva manera de viure, i a l'hivern se... se'n van a treballar a les estacions d'esport d'hivern. Com unitats d'esquí o com... per fer marxar els aparells de remontades mecàniques. I acabat de la *saison* d'hivern tornen reprendre el treball a casa, a l'explotació familiar. Aqueixos detalls se raporten a la qüestió número vint-i-sis.

57. Q.: En a quina data van introduir la televisió en aquest vilatge? I ara, és que es troben totes les famílies?

R.: La televisió, aquí, la van començar de tenir entre mil nou cents cinquanta vuit i mil nou cents sixty. És en aquest moment que van posar els emissors per poder rebre la... les ones necessàries a la televisió. I en aquest moment, pràcticament, tota les cases són equipades d'un aparell de televisió.

zut. Ara, hi ha alguns joves que han modificat llur manera de viure, i a l'hivern se'n van a treballar a les estacions d'esports d'hivern. Com a unitats d'esquí, per a fer marxar els aparells de remontades mecàniques. I acabada l'estació d'hivern tornen a reprendre el treball a casa, a l'explotació familiar. Aquests detalls corresponen a la pregunta número vint-i-sis.

57. Q.: A quina data es va introduir la televisió en aquest poble? I ara, és que es troben totes les famílies?

R.: La televisió, aquí, la vam començar a tenir entre el mil nou cents cinquanta vuit i el mil nou cents seixanta. És en aquests moments qu'es van emplaçar les emissores per a poder rebre les ondes necessàries a la televisió. I en aquest moment, pràcticament, totes les cases estan equipades amb aparell de televisió.

parce que maintenant aussi on reçoit la deuxième chaîne en couleur, voyez. Et alors là, enfin, oui, pratiquement dans toutes les familles. Y a quelques exceptions, mais enfin c'est presque partout.

59. Q. : Quelle est la fête la plus importante de ce village?

R. : C'est le troisième dimanche d'octobre, chaque année, voyez. Ça, c'est la fête principale... en ce moment. Avant, y avait une fête catholique à l'église, voyez-vous. C'était la fête patronale. Celle-là, on la faisait le dix décembre... le dix décembre, le jour de la Sainte Eulalie. C'était la patronne du village. Alors, jusqu'avant la guerre, on pratiquait cette fête tout autant que celle du mois d'octobre, voyez-vous. Alors, la fête patronale proprement dite, c'était la Sainte Eulalie, le dix décembre. Là, on faisait une grande fête. Et alors, la fête locale, c'est le troisième dimanche d'octobre.

60. Q. : Et quel est le nom de cette fête?

R. : En catalan, on l'appelle *el Roser*, le Rosier, le *Roser*, la fête du *Roser*, voyez-vous.

61. Q. : Ah, oui.

R. : En catalan, c'est *el Roser*, le Rosier. C'est la fête du Rosier, c'est ça.

62. Q. : Voulez-vous bien me parler des noces villageoises?

R. : Mais là, c'est toujours pareil, voyez. Y a... pour les noces villageoises, on... c'est-à-dire mariage, voyez-vous. Alors là, les gens, bien entendu, y a les gens de la noce qui font toutes les démarches nécessaires comme pour le mariage, voyez-vous, mairie, église sur le matin, et après y a le repas de noces. Alors là, c'est plantureux, y a... y a de tout. On fait un grand festin. Y a des chants, y a des sketches, y a tout ce que vous voudrez. Et puis, lorsque le repas est terminé, ils invitent la population à danser, voyez. Alors toute la population va au bal, ils dansent, là ils s'amusent, ils font la fête, ils invitent à boire et, voyez-vous, et surtout les intimes.

63. Q. : Ah, oui.

R. : Alors c'est une journée de liesse... ha, ha.

64. Q. : En votre enfance, est-ce qu'il y avait

59. Q. : Quina és la festa la més importanta d'aquêt vilatge? En a quin mes? Què fan en aquesta festa?

R. : En aquêt moment la festa més importanta és la festa locala, *c'est-à-dire* el *troisième diumenge* d'octobre. Aquí els joves, jovens, lloguen una musica, fan concert, balles i molts *divertissements*. Qualque temps après... hi ha qualque temps encara la festa... hi via la festa patronala que era Santa Eulàlia, el deu de desembre. Es feia, també, una grossa festa, *mais* principalment era una festa religiosa, *mais* la tarda se ballava igualment i tothom se donava *rendez-vous* als cafès... Vaja, és molt bonic.

62. Q. : Podeu me racontar nocés del vilatge?

R. : Les nocés del vilatge en principi és els casaments, i aquí ha estat quan han fet les cerimònies sigui a la *mairie*, sigui a l'eglesi, la gent se reunixen sigui als hotels, sigui a les cases, fan un repeix excepcional. No manca res i hi ha totes les varietats del país, i, acabat el repeix, allavors hi han moltes cantarelles, s'explica contes del temps vell, i hasta d'ara, i emprès, tothom se'n va a ballar i conviden tota la població a la noça. Se fa una alegria i tot se passa dins de les millors condicions.

64. Q. : Dins de la vostra infança és qu'hi via

59. Q.: Quina és la festa més important del poble? En quin mes? Què fan durant aquesta festa?

R.: En aquest moment la festa més important és la festa del tercer diumenge d'octubre. Aquí els joves lloguen una música, fan concert, ballen i fan molts divertiments. Fa algún temps encara (es celebrava) la festa patronal, qu'era Santa Eulàlia, el deu de desembre. Es feia, també, una gran festa, però era principalment una festa religiosa, però per la tarda es ballava igualment, i tothom es trobava als cafès... Vaja, és molt bonic.

62. Q.: Podeu explicar-me (sobre) nocés al poble?

R.: Les nocés, al poble, en principi — o sigui els casaments — han estat quan han fet les cerimònies sigui a Casa la Vila, sigui a l'església i (després) la gent es reuneixen, sigui als hotels, sigui a les cases, fan un àpat excepcional. No hi manca res: hi ha totes les varietats del país, i, acabat l'àpat (o el banquet) llavors hi ha moltes cantarelles, s'expliquen contes del temps antic i fins d'ara, i després, tothom se'n va a ballar i conviden tota la població a la noça. Hi ha molta alegria i tot es passa dins de les millors condicions.

64. Q.: Digueu: quan la vostra infantesa és

des hôtels de tourisme?

R.: Non. Seulement là, non. Y en avait pas.

hotels de turisme? Magasins? O bé, bureus de tabac i de jornals?

R.: Quan era jove hi via un hotel dins de la comuna *mais* era pas de turisme, era un hotel local que la gent s'hi... s'hi reunien més que més els diumenges i els dies de festa per a fer-hi una parti de cartes i moltes enraonades i, en fi, tothom... El turisme era pas coneixit encara en aquell moment. De magasins tampoc n'hi havia pas. Calia anar sigui al cantó de Mont-Lluís o llavantes baixar a Perpinyà. Per contra, ja hi via un bureau de tabac i venia jornals. A més que més se venia de jornals del departament que donava rensenyaments de... de la regió.

65. Q.: Et des magasins?

R.: De magasins, non plus. Mais ça, je vous parle de quarante ans en arrière, n'est-ce pas, oui, dans mon enfance, parce que j'*aviais* entre quinze et vingt ans. Y avait que... qu'un petit hôtel, un petit café, ce n'était pas un hôtel, voyez, où les gens du village se rassemblaient le jour de fête ou les veillées comme je vous disais tout à l'heure. Et le dimanche, on faisait une partie de cartes, on s'amusait avec... au bar, oui.

66. Q.: Est-ce qu'il y avait des bureaux de tabac et de journaux?

R.: Le bureau de tabac, oui, y en avait un, et de journaux aussi. Y en avait déjà un qui existait déjà depuis fort longtemps, voyez-vous, le bureau de tabac et les journaux. Y avait également une épicerie, et une boucherie et une boulangerie. Ceci était déjà depuis... depuis mon grand-père, voyez-vous. C'est très très ancien assez, ces choses-là. Mais les hôtels de tourisme, ils ne sont venus que ici dans le village, qu'après la guerre, qu'après mil neuf cent quarante-cinq. Enfin, y en a deux qui se sont modernisés, voyez-vous, pour recevoir des touristes.

67. Q.: Je crois que vous avez appris, bien entendu, le français à l'école.

R.: Oui, là, je l'ai appris à l'école.

67. Q.: Em pensi que heu après, ben entès, el francès a l'escola?

R.: Sí, vai aprendre el francès a l'escola.

68. Q.: L'instituteur de français était-il natif de cette région?

R.: D'ici, de Cerdagne même, non. Mais il était de... de la plaine, voyez, il était du département.

68. Q.: El mestre d'escola és qu'era neixit en aquesta regió?

R.: El mestre d'escola que tenia era de la plana, venia del Rosselló, *mais* en fi parlava també el català.

69. Q.: Oui, du Roussillon...?

R.: Du Roussillon, il était du Roussillon.

que hi havia hotels de turisme? Botigues (magatzems)? O bé tendes de tabacs i diaris?

R.: Quan jo era jove hi havia un hotel en el poble però no era pas de turisme, era un hotel local en el qual la gent s'hi reunien més que més els diumenges i els dies de festa per a fer-hi una jugada de cartes i moltes enraonades... El turisme no era encara conegut en aquell moment. De botigues tampoc no n'hi havien. Calia anar, sigui cap el cantó de Mont-Lluís o llavors baixar cap a Perpinyà. Per contra, ja hi havia una tenda de tabac que venia diaris. A més a més, s'hi venia el diari del departament que donava noves de la regió.

67. Q.: Em penso, ben entès, qu'heu après el francès a l'escola?

R.: Sí, vaig aprendre el francès a l'escola.

68. Q.: El mestre d'escola, havia nascut en aquesta regió?

R.: El mestre d'escola que jo tenia era de la plana, venia del Rosselló, però en fi parlava també el català.

70. Q.: Le français et le catalan, lequel est de votre préférence en parlant?

R.: C'est-à-dire que voilà... le français, je le parle, bien entendu, presque toute la journée, vu mon emploi, au bureau, voyez-vous. Mais dès que je suis dans la rue, et que je rencontre les gens du village, c'est le catalan. Alors, maintenant je les parle presque également l'une et l'autre: au travail je parle le français: dès que je suis dans la rue, je parle le catalan avec les gens, bien entendu, qui parlent le catalan, voyez. Ça, c'est... euh... les gens de mon âge également, en général, vous voyez, c'est comme je vous dis. Ils vous rencontreront dans la rue, bien entendu, ils pourront pas vous parler en catalan, enfin, vous, ceux qui viennent de l'intérieur de la France, voyez-vous, vu qu'ils ne comprennent pas, alors, ils parlent le français. Mais dès qu'on est ensemble, on abandonne le français pour parler le catalan... ha, ha.

71. Q.: Ah, ah... bien.

R.: Voyez-vous, c'est... comment vous dirai-je? ...c'est dans le sens, c'est exclu ailleurs, c'était instinctif.

72. Q.: A, oui, instinctif.

R.: Vous voyez?

73. Q.: Oui, oui.

R.: On ne... avec ceux de mon âge, même un peu plus jeunes, eh bien, on se rencontre, si on se parlait français, on se dirait bien quoi, ça ne va plus. Tandis que les jeunes, voyez, les jeunes maintenant c'est le contraire. Ils parlent continuellement français entre eux. Oui, ils comprennent le catalan, mais entre eux ils parlent toujours le français. Toujours, toujours. Ils ont abandonné le catalan, et ils parlent le français.

74. Q.: Et les jeunes gens comprennent le catalan en écoutant?

R.: Oui. Oui, oui, oui, ils comprennent. Ceux du village comprennent, parce que, voyez-vous, dans les familles, le père et la mère parlent le catalan... Alors, aussi un grand-père ou un oncle, voyez-vous. Moi-même, j'ai mon neveu et ma nièce... principalement avec mon neveu je parle catalan. Ma nièce, elle est de Perpignan. Elle comprend au catalan, mais me répond toujours en français. Et leur fillette, alors, ma petite-nièce, voyez-vous, elle parle tou-

70. Q.: El francès i el català, quin dels dos és la vostra preferència *en parlant*, i en general per la gent del vostre adge?

R.: No pot tenir preferència entre el francès i el català; perquè... primerament, la meua ocupació en el mestie, donc de Secretari, m'obliga de parlar el francès amb tota la gent que rebi aquí al bureu de la *mairie*. Per contra, un poc som endefora del meu treball, que és el treball a casa, que som al carrer, que trobi la gent, aquí nosaltres parlem sempre la llengua catalana, la llengua maternal. I la gent del meu adge, tots en general, quan ens trobem als carrers o aixís, també parlem el català. Ré a que, amb els joves que parlem el francès o amb la gent que són forasters del vilatge.

74. Q.: (*Vos enfants parlent-ils catalan? Et vos petits-enfants?*)

R.: Com que som pas casat tinc pas mai-nada, *mais* tinc nebots que parlen el català. *Mais* la seva dona és neixida de Perpinyà, comprèn el català, *mais* el parla pas; el mateix que la seva nena que parla que únicament el francès *mais* comprèn molt bé el català.

70. Q.: El francès i el català, quin dels dos té la vostra preferència al parlar, i en general per a la gent de la vostra edat?

R.: No puc tenir preferències entre el francès i el català. Perquè, primerament, la meua ocupació en el càrrec de Secretari m'obliga a parlar en francès amb tota la gent que rebo aquí al despatx de l'Ajuntament. Per contra, tan aviat com sóc fora del meu treball, quan és el treball de casa, quan sóc pel carrer, quan trobo la gent, aquí nosaltres parlem sempre la llengua catalana, la llengua materna. I la gent de la meua edat, tots en general, quan ens trobem pels carrers o aixís, també parlem en català. Només és amb els joves que parlem en francès o amb la gent que són forasters al poble.

74. Q.: [Els vostres nois parlen el català? I els vostres néts?]

R.: Com que no sóc casat no tinc mai-nada, però tinc nebots que parlen en català. Però la seva dona va néixer a Perpinyà; comprèn el català però no el parla pas; el mateix que la seva nena que només parla, únicament, el francès, però comprèn molt bé el català.

II 74において質問がフランス語のまま鉤括弧で包んであるのは、話者が報告者の質問をカタロニア語で繰返すのを失念したためである。III 74の質問も従って空白のままなので、報告者がカタランに訳して当てた。

jours français. Mais elle comprend le catalan. Vous voyez la différence que ça fait maintenant. Tandis que dans mon enfance, c'était le contraire. On nous interdisait de parler catalan à l'école pour qu'on apprenne le français, parce qu'y avait une difficulté, voyez-vous... euh... C'est comme je vous disais l'autre jour, voyez-vous, le catalan que nous parlons, nous l'avons francisé, nous avons introduit des mots de français dans le catalan, et en ce moment-là, c'était l'inverse, on introduisait des mots de catalan dans la langue française, et c'est ce que l'instituteur ne voulait pas.

75. Q.: Ah, je comprends très bien.

R.: Voyez. Même on était puni, si... il nous entendait parler catalan. C'était pour nous habituer à la langue française, parce que y avait une difficulté, voyez-vous, on sentait... ha, ha... y avait quelque chose.

76. Q.: Amb a qui i de quines circumstàncies parleu el català?

R.: Com jo vinc de dir, el català el parli en tot moment del dia, des del moment que som endefora del meu treball de cada dia. En el meu treball al bureau del Secretariat.

77. Q.: Qu'est-ce que le GROUPE SCOLAIRE?

R.: Alors là, le GROUPE SCOLAIRE, c'est les... les études primaires, voyez-vous, ici dans le village. Alors, ici, c'est... du cours préparatoire, voyez-vous, jusqu'à la sixième, cours moyen deuxième année. Et alors, après le cours moyen deuxième année, ils passent en sixième, et là, ils s'en vont au lycée, voyez-vous. C'est l'enseignement primaire.

77. Q.: Què és el grup escolar? Que és mantingut per la comuna? Quines són les aglomeracions d'aqueixa comuna? Quant de mestres d'escola i de... i de... i d'ècoliers hi ha?

R.: Aquí a la comuna fem les escoles primeres, *c'est-à-dire* del cours préparatoire fins al cours moyen deuxième année. A partir d'aquèl moment els joves que en tenen la possibilitat entren en *sixième* en els lycées. Totes les furnitures escoleres non pagades per la comuna. Els tractaments del mestre d'escola, per contra, són pagats per l'Estat, per l'Educació Nacionala. A la nostra escola hi vé als curs les mainades del Coll de la Perxa qu'és a un quilometre d'aquí i emprès els quins baixen de Super-Bolquera, una estació que... l'estació que és criada *depuis* quelques anys. Hi ha ramassatge escolar i un taxi els va cercar a les hores d'obertura i els torna a portar a les hores de... dels repeixos i a la nit a la seva casa. Hi ha dos mestres d'escola i *à peu près* hi ha cap a setanta... setanta mainades que van a escola.

78. Q.: C'est maintenu par la commune?

R.: Alors là, la commune paie les four-

76. Q.: Amb qui i en quines circumstàncies parleu el català?

R.: Com us ho acabo de dir, el català el parlo en cada moment del dia, des del moment que deixo el meu treball de cada dia, el meu treball del despatx del Secretariat.

77. Q.: Quin és grup escolar? És que és mantingut per l'Ajuntament? Quins són els barris d'aquest Ajuntament? Quants mestres d'escola hi han? I d'estudiants?

R.: Aquí al poble tenim les escoles primàries, o sigui el curs preparatori fins al curs mitjà segón any. A partir d'aquest moment els joves que tenen la possibilitat (de fer-ho) entren a sexta en els Instituts. Tots els suministres escolars són pagats per l'Ajuntament. Els sous dels mestres d'escola, per contra, són pagats per l'estat, per l'Educació Nacional. A la nostra escola hi venen les mainades del Coll de la Perxa que és a un quilòmetre d'aquí i després els quins baixen de Super-Bolquera, una estació que ha estat construïda des de fa uns anys. Hi ha recollida escolar i un taxi els va cercar a les hores d'obertura i els torna a portar a les hores dels àpats i a la nit a llurs cases. Hi han dos mestres d'escola, i aproximadament, cap a setanta... unes setanta mainades que van a escola.

nitures scolaires: c'est-à-dire livres, cahiers, toutes les fournitures scolaires, voyez-vous, c'est la commune qui les paie. Là, ce n'est pas l'Etat, c'est la commune; les livres, les cahiers, enfin tout. C'est la commune qui paie tout. Mais, l'instituteur, l'institutrice, eux, sont payés par l'Etat, bien entendu, par l'Education Nationale, voyez-vous. C'est les fonctionnaires de l'Etat, mais la commune paie les fournitures.

79. Q.: Quelles sont les agglomérations de cette commune? Combien y a-t-il d'instituteurs et d'élèves?

R.: Alors, les agglomérations de la commune: il y a... maintenant nous avons des enfants qui viennent de Super-Bolquère, voyez-vous, y a un ramassage scolaire, y a un taxi qui fait le matin, à midi, et les rapporte manger chez eux à midi, et les ramène à deux heures et il les rapporte le soir à leur domicile. Alors, y a la station de Super-Bolquère qui vient, et puis y a un petit hameau de la Perche où y a des hôtels. Les enfants de la Perche viennent à l'école, ici, à Bolquère, oui. Il y a deux institutrices, deux, oui, c'est deux femmes, et il doit y avoir dans les soixante-dix élèves, soixante-dix, avec les deux institutrices, n'est-ce-pas.

80. Q.: Les institutrices sont-elles de cette région?

R.: Elles sont natives de la plaine aussi, voyez, elles sont natives des environs de Perpignan, oui, alors c'est le département... c'est le département.

81. Q.: Où vont-ils les jeunes gens pour leur enseignement secondaire? Et le pourcentage?

R.: Alors, certains vont au Lycée Climatique de Font-Romeu maintenant. Et d'autres descendent à Prades, voyez. Et puis, ça dépend du cycle qu'ils prennent. Y en a qui vont au C. E. G. de Bourg-Madame. Voyez, il y a trois centres... Y a le C. E. G. de Bourg-Madame, le Lycée de Font-Romeu, et le Lycée de Prades. Et alors, le pourcentage, c'est pratiquement... pratiquement du cent pour cent, vous savez.

82. Q.: Ah, cent pour cent, ah oui.

R.: Parce que, lorsque... ils sont capables de... de rentrer en sixième, alors ils les orientent soit dans l'un soit dans l'autre. Après, bien entendu, par la suite, jusqu'à

80. Q.: Els mestres d'escola és que són d'aquesta regió?

R.: Com us deia pels mestres que jo anava a escola, no, són pas d'aquí. Són tots dos de la plana. *Mais* també parlen el català.

81. Q.: On van els joves pel seu ensenyament secundari, i quin percentatge?

R.: Per l'ensenyament secundari de... tan punt prenen la *sixième*, van *soit* à... al *Lycée* de Font-Romeu, al *Lycée Climatique et Sportif* de Font-Romeu, al *Lycée* de Prada o allavantes en el Centre de Bourg-Madame. El percentatge és prou important i és al voasinatge del cent per cent. Posem a quatre vint deu per cent, quan parteixen en *sixième*. Ara, *emprès*, per la suite, quan arriben a setze anys, si certens poden pas seguir, llavantes prenen una altra branca.

80. Q.: Els mestres d'escola, és que són d'aquesta regió?

R.: Com us deia pels mestres de quan jo anava a l'escola, no, no són pas d'aquí. Tots dos són de la plana. Però també parlen català.

81. Q.: On van els joves pel seu ensenyament secundari, i en quin percentatge?

R.: Per l'ensenyament secundari, tan bon punt tenen la sisena, van al liceu (institut) de Font-Romeu, a l'Institut Climàtic i Esportiu de Font-Romeu, al Liceu de Prada, o, llavors, al Centre de la Guingueta (Bourg-Madame). El percentatge és prou important i en el veïnatge és del cent per cent. Posem a noranta per cent quan acaben la sisena. Ara, després, a continuació, quan arriben a setze anys, si alguns d'ells no poden pas continuar, llavors prenen una altra branca.

I 81の C. E. G. は Centre d'Enseignement Général の略号.

l'âge de seize ans, ils y vont presque tous, parce que... l'enseignement est obligatoire jusqu'à seize ans en France, voyez-vous. Alors, jusqu'à seize ans, ils vont presque tous soit à l'un soit à l'autre. C'est après seize ans que ils les orientent soit à l'enseignement soit dans un métier.

83. Q. : Je vois que vous parlez très bien le catalan. Est-ce que vous lisez souvent des livres écrits en catalan?

R. : Oui, je... quand j'ai l'occasion, vous voyez, le petit recueil que... voyez, ça je m'y amuse à lire. Mais pour lire continuellement, non.

84. Q. : Non?

R. : Parce que... d'ailleurs je n'ai pas le temps.

85. Q. : Ah...

R. : Ha, ha... voyez-vous. Et puis, ici, dans la région, encore nous n'avons pas de... tellement d'occasions de pouvoir lire comme ça.

86. Q. : Et vous aussi, vous écrivez le catalan?

R. : Ah, je ne l'écris pas. Je le lis, mais je ne l'écris pas.

87. Q. : Jusqu'à à peu près quelle date on écrivait en catalan: des correspondances personnelles; des dossiers officiels?

R. : Oh, ça... ça remonte déjà... c'est loin. Je ne pourrais pas vous le dire exactement, voyez-vous, parce qu'ici, en mairie, tous les documents que nous avons sont tous en français, vous voyez. Alors là, ce... des documents comme ça, ça doit... ça doit être assez éloigné. C'était peut-être même avant le Traité des Pyrénées.

88. Q. : Ah, oui.

R. : Ça remonte assez loin, parce qu'après déjà... si vous voulez, la population ne parlait pas français, mais y avait soit le curé par exemple, soit l'instituteur, qui faisait les lettres, voyez, pour les gens. Alors là, ça remonte assez loin, ici, chez nous, dans le département. A présent, du côté de l'Espagne, là non, là ils l'écrivent encore. En Espagne ils l'écrivent encore. Ils n'ont pas accepté la langue espagnole, vous voyez, ils écrivent en catalan, tandis que nous, depuis le Traité des Pyrénées, nous avons la langue française et parlons couramment le français. Et nos ancêtres, ils ne le parlaient pas, mais comme je vous dis, ils avaient le... ou le curé ou l'institu-

83. Q. : Vei que parleu molt bé el català. És que llegiu sovint llibres escrits en català? I vós, també és que escriveu el català?

R. : Sí, parli a *peu près* el català, sí. El llegeixi prou correntment, *mais* l'escric pas, del moment que l'hai pas après a l'escola.

87. Q. : Fins a *peu près* en a quina data van escriure el català?

R. : El català se va escriure un xic més tard del Tractat dels *Pyrénées* quan van ralliar la Catalunya a la França, en fi, el departament dels *Pyrénées-Orientales* a la França en setze cents cinquanta nou. I el van obligar a partir en mil set cents o mil set cents cinc. És allavantes a partir d'aqueixes dates que els *dossiers* oficies van esser tots redijats en francès.

87. Q.: Fins a quina data varen escriure el català?

R.: El català es va escriure un xic més tard del Tracta dels Pirineus quan van anexionar Catalunya a França, en fi, el departament dels Pirineus-Orientals a França en mil sis cents cinquanta nou. I el van obligar (el francès) a partir de mil set cents o mil set cents cinc. És llavors, a partir d'aquestes dates que els documents oficials varen ésser redactats en francès.

ピレネ条約(1659)およびその修正第42条(1660)はセルダーニュの仏西間における分割を定めたもので当該地方の重層言語現象出現の発端をなす。別稿において解説する。

teur ou des notaires enfin, qui faisaient toutes... toutes les écritures.

89. Q.: Même ici, je n'ai pas beaucoup de chances d'entendre parler en catalan.

R.: C'est ce que je vous disais, voyez. Si, par exemple, vous passez dans la rue au moment où y aura quatre ou cinq personnes de quarante ans ou au-dessus, vous voyez, là vous entendrez parler catalan. Mais si vous avez des jeunes de moins de trente-cinq ou trente ans, alors, entre eux déjà, c'est le français, oui.

90. Q.: Alors, qu'est-ce que vous pensez de l'état actuel et du futur de votre langue?

R.: Voyez-vous, là, la langue est en déclin. C'est pour ça que ils cherchent à créer des réunions de jeunes pour les initier de nouveau à la langue catalane. Dans la plaine y a déjà des clubs qui se sont formés et qui reprennent la langue catalane. Mais maintenant, ici, voyez, encore ici dans le pays, y a... y a rien de fait pour cela. Et comme je vous dis, voyez, les jeunes le comprennent très bien, mais ne le parlent pas. Et quand ils le parlent, ils le déforment. Vous voyez, bien entendu, ils ne le parlent pas comme nous faisons, nous qui avons l'habitude de le parler tous les jours. C'est là la différence. C'est dommage parce que...

91. Q.: Vous avez des écrivains préférés de la langue catalane?

R.: Alors là, des écrivains, vous voyez, je... ne lisant pas continuellement, je n'ai aucune préférence sur un tel ou un tel, voyez-vous. Je lis les articles que je trouve dans les revues, mais pour avoir une préférence sur un écrivain, il faudrait pouvoir lire très souvent et faire des comparaisons. Alors là, je ne peux pas le faire... ha, ha.

89. Q.: Hasta aquí tinc pas gaires *chances* de sentir parlar el català. Què penseu de l'estat actual i de *l'avenir* de la vostra llengua?

R.: Veieu, aquí, per poguer sentir parlar el català *à peu près* normalment, calria que poguessiu us atrobar amb gent del meu adge o bé adge més joves, i que entressim en relació en aquèl moment. Allavantes poriu sentir parlar el català. Perquè si com que en aquèl moment hi ha molt d'estivants, i que tots són o de la plana o fora del departament, parlen tots francès. Allavantes, som obligats als hi parlar francès. És amb reunions entre nosaltres que el podriem sentir parlar. Al moment actual, el català, veieu, és una llengua que se comença a perdre un xic perquè els joves el parlen pas com fèiem nosaltres. El comprenen ben bé, a les seves cases el parlen entre el pare i la mare, *mais* ells responen sempre en francès. Això fa que *l'avenir* de la llengua, si continua així segurament que serà força degenerada. Perquè es parlarà pas correntment com fèiem nosaltres abans.

91. Q.: És que teniu escriptors que us estimeu més de la llengua catalana?

R.: Com que principalment no tinc temps de poguer me donar a la llengua catalana, a llegir la llengua catalana en permanenci, puc pas dir si preferi més l'un o l'altre que han escrit aqueixos llibres. Això fa que us puc pas donar una... una... una... raó ben segura en aquèl punt.

89. Q.: Fons ara no he tingut gaire sort de sentir parlar català. Què penseu de l'estat actual i del pervindre de la vostra llengua?

R.: Veieu, aquí, per a poder sentir parlar el català normalment, us caldria que poguessiu trobar-vos amb gentes de la meua edat i més joves i que entressiu en relació (amb ells) en aquest moment. Llavors podríeu sentir parlar el català. Perquè ara, com que hi han en aquest moment molts estivants, els quals tots són de la plana o de fora del departament, tots parlen en francès. Llavors, nosaltres som obligats de parlar-los-hi en francès. És en reunions entre nosaltres que el podríeu sentir parlar. Al moment actual el català, veieu, és una llengua que comença a perdre's un xic perquè els joves no el parlen pas (tant) com ho fèiem nosaltres. El comprenen prou bé; a llurs cases el parlen amb el pare i la mare, però ells responen (quasibé) sempre en francès. Això fa que el pervindre de la llengua, si continua així, segurament serà força degenerada. Perquè no es parlarà correntment com fèiem nosaltres abans.

91. Q.: Quins són els escriptors en llengua catalana que us estimeu més?

R.: Com que principalment no tinc (prou) temps per a poder donar-me a la llengua catalana, a llegir en llengua catalana en permanència, no puc pas dir si prefereixo un o altre dels que han escrit aquests llibres. Això fa que no us puc pas donar una raó ben segura a aquest punt.

92. Q.: Est-ce que vous avez encore quelque chose de remarquable à nous faire savoir sur ce village?

R.: De remarquable dans le village... que je sache sur ce village. Je crois que dans l'ensemble nous avons fait un résumé de... de la situation, voyez-vous, nous avons vu la vie des habitants, nous avons vu l'agriculture, nous avons vu enfin le point de vue touristique. Si vous voulez, là, au point de vue touristique, maintenant, le village se développe beaucoup dans ce sens. Et pour le moment, vous voyez, c'est tout des... comment vous dirai-je... des résidences secondaires que nous avons, c'est-à-dire que les gens ont leur profession principale ailleurs, voyez-vous, et viennent ici au moment des vacances, soit maintenant aux grandes vacances, puis à la Noël pour les sports d'hiver, Noël, le Carnaval et Pâques. C'est-à-dire que maintenant, vous voyez, y a une saison d'été, une saison d'hiver; mais ceci, c'est saisonnier. Ce n'est pas permanent. Au moment ce n'est pas permanent... oui. Oui, ce village se développe en ce moment sur le tourisme.

93. Q.: Je vous remercie beaucoup, Monsieur.

92. Q.: És que teniu encara quelcom ens a dir de remarcable o de ens fer sapiguer sus d'aquêt vilatge?

R.: Pensi que, dins de tot, aqueixes questions que he repongut. Hem fet un torn d'horizon complet del vilatge, si no és que en aquêt moment el vilatge se gira de més en més cap el turisme. Tenim forces residències secundaris i en venint tota aqueixa gent estrangers, ben entès, la vida del vilatge canvia. I ha més animació en les períodes de vacances, *c'est-à-dire*, juliol i agost, emprès per Nadal, les Fetes de Nadal del vint de desembre al cinc de gener, les Fetes de Carnaval... cap a fi de febrer o març i emprès per les Fetes de Pasqua. Allavantes hi ha... hi ha força trafic dins del vilatge i la vida, ben entès, és més movimentada i dona una altra atracció al vilatge que no tenim en períodes creuses, quan som unicament els sedentaris que existim en aquêt vilatge. Pensi que ho hai dit tot.

92. Q.: És que teniu encara quelcom a dir-nos d'interessant o de fer-nos saber sobre aquest poble?

R.: Penso que ho he dit tot en aquestes preguntes que he respost. Hem fet un torn d'horitzó complet del poble. Si no és que aquest moment el poble es gira de més en més cap al turisme. Tenim moltes residències secundàries, i revint tota aquesta gent estrangera, ben entès, la vida del poble canvia. Hi ha més animació en els períodes de vacances, és a dir, juliol i agost, després per Nadal, les Festes de Nadal del vint de desembre al cinc de gener, les Festes de Carnaval... cap a la fi de febrer o març i després les Festes de Pasqua. Llavors hi ha força tràfec dins del poble i la vida és, ben entès, més movimentada i dona una altra atracció al poble que no pas tenim en els períodes normals, quan són únicament els sedentaris que existim en aquest poble. Penso que ja ho he dit tot.

本テキストは、重層言語の資料でありテキスト自体に資料価値をもたせることに留意して採録されたものではあるが、言語問題に関連する内容の検索の便をはかるために略索引を附する。

話者自身について——1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9, 10, 15, 16, 17, 18, 19, 20.

話者と言語——11, 12, 13, 14, 70, 74, 75, 83, 84, 89, 90, 91. (特に話者幼少時の言語については11, 12, 13, 74, 75).

村の言語状況——70, 71, 72, 73, 74, 75, 76, 85, 86, 87, 88, 89, 90 (特に若い世代のそれについては73, 74).

フランス語教育——67, 74, 75.

学校教育——68, 69, 77, 78, 79, 80, 81, 82.

村の立地条件——33, 34, 35, 36, 37, 38, 39, 79, 92.

村の農業——24, 25, 27, 29, 30, 31, 33, 34, 35, 36, 39, 40, 41, 53 (経営の採算性についてはⅡ30, Ⅲ30; 経営規模の変化については41).

村の牧畜——25, 26, 28, 31, 35, 42, 49, 50, 51, 52, 54 (特に移動放牧については49, 50, 51, 52).

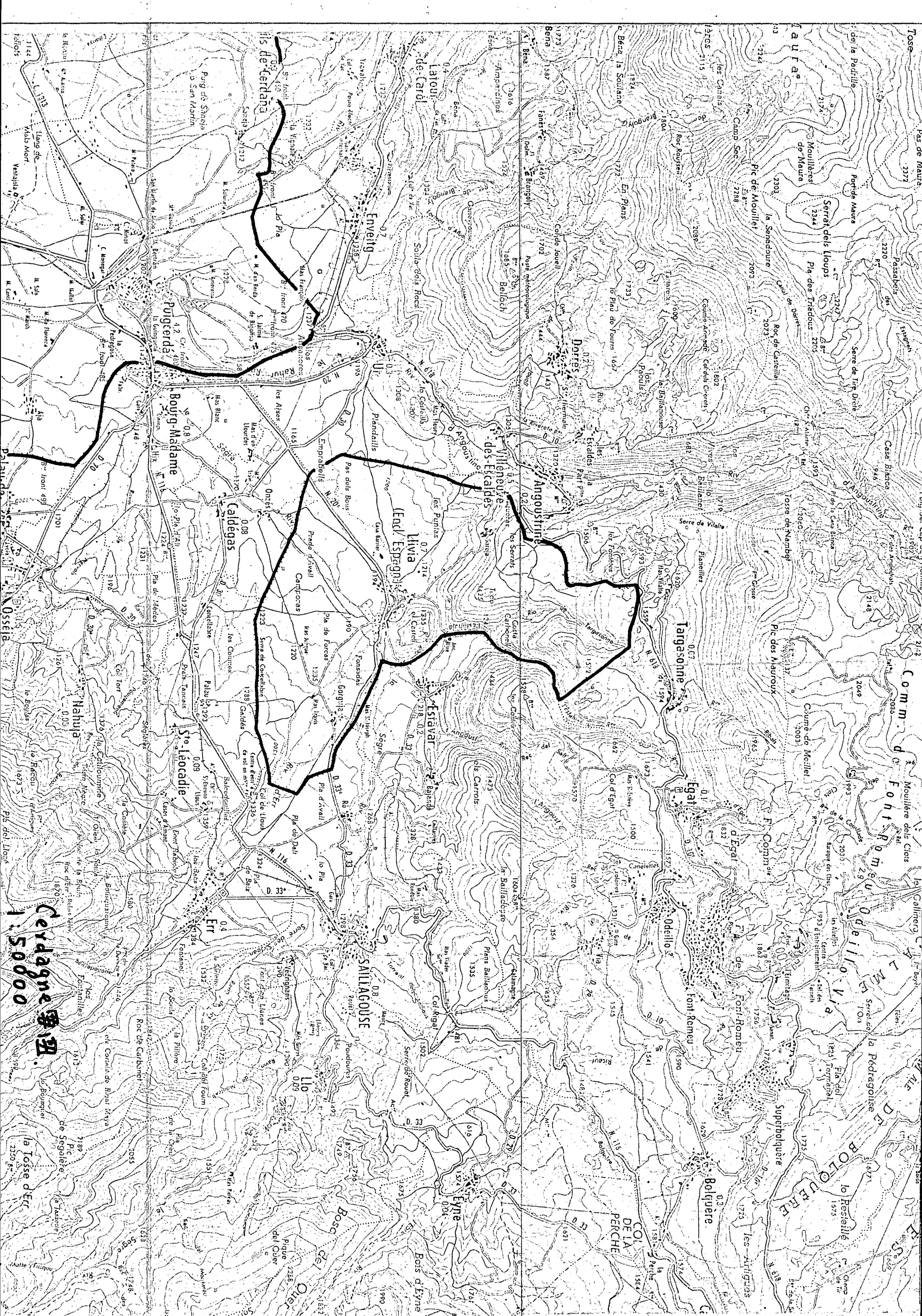
tourisme——36, 46, 47, 66, 92.

村の昔——41, 55, 56, 64, 65, 66.

村人の生活——43, 44, 45, 48, 47, 48, 53, 54, 55, 57, 58, 59, 60, 61, 62, 63, 92 (特に若い世代については, 44, 45, 46, 47, 48, 56, 73, 81, 82, 91).

(昭和49年4月25日受理)





Cerdagne 50000